

第 1 編 江田島市の教育行政

1 概要

江田島市教育委員会

〒737-2397

広島県江田島市能美町中町4859番地9（能美市民センター3階）

T E L . 0823 (43) 1900 代表（学校教育課総務係）

0823 (43) 1901（学校教育課指導係） 0823 (43) 1902（生涯学習課）

F A X . 0823 (45) 3501（学校教育課） 0823 (45) 3502（生涯学習課）

U R L : <http://www.edc.etajima.hiroshima.jp/>

E-mail : gakkou@city.etajima.hiroshima.jp（学校教育課）

gakusyuu@city.etajima.hiroshima.jp（生涯学習課）



能美市民センター（本館3階）

2 教育委員等



小野藤教育長



三島教育委員



樋上教育委員



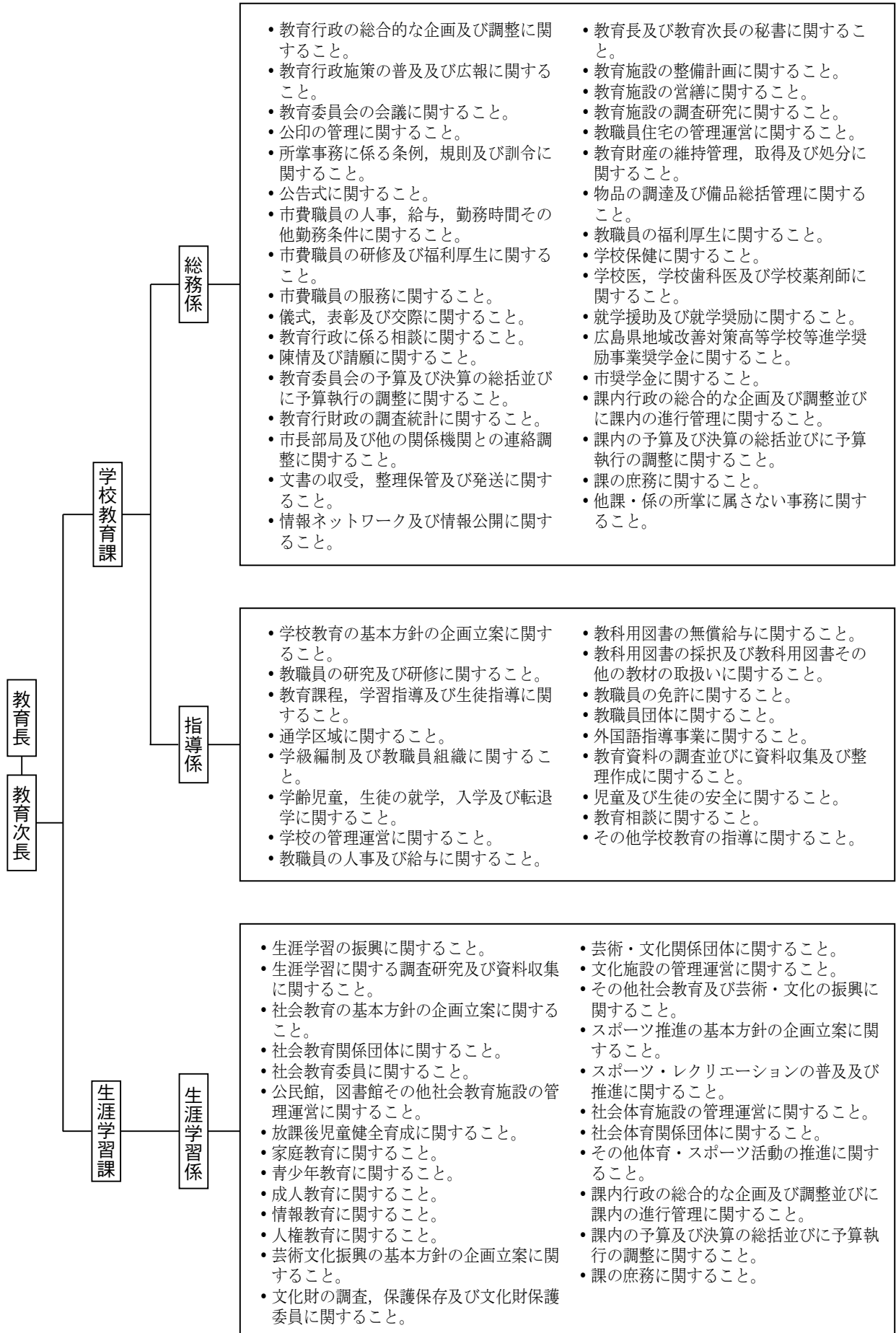
小宇根教育委員



泊野教育委員

役職名	氏名	任期
教育長	小野藤 訓	自 令和2年4月1日 至 令和5年3月31日
教育委員（教育長職務代理者）	三島 雅司	自 平成30年4月1日 至 令和4年3月31日
教育委員	樋上 美由紀	自 令和2年4月1日 至 令和6年3月31日
教育委員	小宇根 康典	自 令和3年4月1日 至 令和7年3月31日
教育委員	泊野 仁美	自 平成31年4月1日 至 令和5年3月31日

3 事務分掌



4 一般会計予算（歳出・目的別）

（単位：千円）

	令和3年度		令和2年度		前年度比
	予算額	構成比	予算額	構成比	金額
議会費	170,733	1.2%	186,465	1.2%	-15,732
総務費	2,443,199	17.5%	2,379,838	15.0%	63,361
民生費	4,088,771	29.3%	4,203,762	26.6%	-114,991
衛生費	892,723	6.4%	885,091	5.6%	7,632
労働費	12,491	0.1%	12,771	0.1%	-280
農林水産業費	506,026	3.6%	524,462	3.3%	-18,436
商工費	336,089	2.4%	928,325	5.9%	-592,236
土木費	928,943	6.6%	1,257,252	7.9%	-328,309
消防費	678,514	4.9%	662,620	4.2%	15,894
教育費	1,067,940	7.6%	1,299,522	9.3%	-231,582
教育総務費	278,041		273,139		4,902
教育委員会費	1,957		1,961		-4
事務局費	135,580		124,705		10,875
教育振興費	140,504		146,473		-5,969
小学校費	132,232		170,976		-38,744
学校管理費	108,653		146,586		-37,933
教育振興費	23,579		24,390		-811
学校建設費					0
中学校費	97,836		322,906		-225,070
学校管理費	71,983		311,149		-239,166
教育振興費	25,853		11,757		14,096
学校建設費					0
社会教育費	248,736		227,882		20,854
社会教育総務費	128,604		116,867		11,737
文化振興費	10,335		7,650		2,685
公民館費	43,924		20,038		23,886
図書館費	37,501		50,142		-12,641
人権教育費	1,806		1,866		-60
文化財保護費	2,621		7,117		-4,496
学びの館費	10,801		10,218		583
環境館費	13,144		13,984		-840
保健体育費	311,095		304,619		6,476
保健体育総務費	9,783		11,073		-1,290
体育施設費	82,276		59,649		22,627
学校給食費	219,036		233,897		-14,861
災害復旧費	11,736	0.1%	463,341	3.3%	-451,605
公債費	2,031,468	14.5%	2,110,191	15.1%	-78,723
諸支出金	776,367	5.6%	881,360	6.3%	-104,993
予備費	25,000	0.2%	25,000	0.2%	0
合計	13,970,000	100.0%	15,820,000	100.0%	-1,850,000

5 教育行政方針の概要

子どもたちが夢や目標を持って学び、育ち、市民一人ひとりが、生涯を通じて、学び、活動し、生きがいを感じ輝くことは、豊かな暮らしの基盤となります。

学校教育は、児童生徒の生きる力を育むことを目指し、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をバランスよく育成し、その水準の向上に努めます。

生涯学習は、公民館活動などの社会教育を始め、文化・芸術、家庭教育における学習機会の確保と、教育環境の整備・充実に努めます。

スポーツの振興は、地域で行うスポーツ大会を始め、体を動かす機会とスポーツに親しみを感じる機会の確保や充実に努めます。

里海教育は、自然体験活動や探究活動など、自然に親しみ、自然に学ぶ場や機会の確保や充実に努めます。

これらの理念を合わせることで、相乗効果を生み、「人が育ち、輝くまち」を目指します。

学校教育

<施策の目標(目指す姿)>

生きる力が育まれ、信頼される学校づくりが進んでいます

1 小中学校教育の充実

子どもたちが未来社会を切りひらくための資質・能力を育成し、自ら学ぶ意欲や知識及び技能の習得と、思考力、判断力、表現力等を重視し、「生きる力」を育む教育を充実させるとともに、体育・健康に関する指導の充実により、豊かな心や健やかな体の育成を目指します。

【主な取組】

●授業改善等による学力の定着・向上	学力調査の結果の分析等を通して、授業改善等を行い、学力の定着・向上を図ります。
●発達段階に応じた道徳教育及び人権教育の推進	各教科等での指導や体験活動を充実させるとともに、家庭や地域と連携し、発達段階に応じた道徳教育及び人権教育を推進します。
●集団宿泊活動や自然体験活動等の体験活動の推進	小学校における集団宿泊活動の充実や、「里海」を教育資源とした自然体験活動の充実を図ります。
●自己指導能力を育成する生徒指導の充実	いじめの防止等の取組など、生徒指導体制の確立を図るとともに、児童生徒の問題行動等の未然防止や早期対応に努めます。
●体力づくりの場の充実等による体力・運動能力の向上	体力・運動能力調査の結果分析を活用した授業・スポーツ活動の実施及び部活動の活性化を図ります。
●学校・家庭・地域が一体となった食育の推進	食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけるとともに、家庭や地域と連携した食育の取組を推進します。
●言語活動の充実等によることばの教育の推進	言語活動の充実により、児童生徒の言語に関する能力を向上させ、思考力、判断力、表現力等の育成を図ります。
●発達段階に応じた系統的なキャリア教育の推進	中学校の職場体験学習をはじめ、発達段階に応じたキャリア教育を推進します。
●教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実	児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導や必要な支援を行います。
●本市内の校種間(小・中・高・特別支援学校)連携の推進	校種間の連携により、教育課題の検討、児童生徒の交流及び教職員研修の充実等を図ります。
●グローバル化・情報化に対応する教育の推進	外国語指導助手の活用等を通じて、小学校の外国語活動及び中学校の英語教育の充実を図ります。また、ICTを活用した授業の充実を図るとともに、情報モラルの育成を図ります。

2 学校と地域・家庭の信頼関係

組織的な学校体制のもとで、教職員を育成するとともに、学校評価の充実等を図ることにより、開かれた学校づくりを進め、学校・家庭・地域の連携により信頼される学校を目指します。

学校給食では、安全・安心な学校給食を提供し、食を通じた地域への愛着を高めます。

【主な取組】

●教職員の資質・指導力の向上	教職員研修の充実や自主教育研究グループへの支援により、教職員の資質・指導力の向上を図ります。
●開かれた学校づくりの推進	学校評価等を充実させ、グローバル化・情報化に対応する教育を推進し、教育の質の向上を図ります。
●地場産品を使った学校給食の提供	本市の「食」について知り、故郷への愛着や誇りが持てる子どもを育てます。

3 学校施設の整備

安全・安心な教育環境を整備するため、老朽化した校舎等の修繕及び改修を行うとともに、学校統合による遠距離通学の児童生徒を支援します。

また、教育の情報化に対応するため、ICT機器の整備を計画的に行います。

【主な取組】

●学校施設の修繕及び改修	老朽化した校舎等について大規模改修等を計画的に進めます。
●学校施設・設備の管理・整備	学校施設・設備を適切に維持管理するとともに、計画的な整備を図ります。
●ICT機器の整備	教育の情報化に対応するため、ICT機器を計画的に整備します。
●遠距離通学への対応	学校統合により遠距離通学となった児童生徒のため通学手段の確保、路線バス定期補助を行います。

生涯学習

＜施策の目標（目指す姿）＞

誰もが生涯を通じて学び、活動し、生きがいを感じ、輝いています

1 生涯学習活動の支援

市民ニーズにあった講座を実施するなど、生涯学習講座の充実を図ります。

また、市美術展やコンサートなど文化芸術に接する機会の充実を図るとともに、児童や青少年の居場所づくり、体験学習などの機会の確保・充実に取り組みます。

さらに、家庭教育や人権教育啓発に係る事業を効果的に展開するとともに、図書館利用においては、市民の要望や意見等を取り入れながら利便性を高め、利用者の増加と読書活動の充実に努めます。

【主な取組】

●市民ニーズに応じた生涯学習の支援や交流機会の提供	生きがい、心豊かさ及び健康増進を図るための学習機会を設け、市民ニーズに応じた多様な講座を開催します。
●講演等による人権教育の推進	講演会などを開催し、市民の人権意識の高揚を図ります。
●公立図書館の連携や年齢・世代別及び障害のある方など利用者に応じた図書館サービスの充実	公立図書館などとの連携による図書館機能の充実や、市民読書グループの育成などによる、利用しやすい図書館を目指します。
●文化芸術を鑑賞する機会の確保	創作活動の振興と、優れた作品を鑑賞する場を設け、豊かな感性と確かな教養を培う機会を提供し、文化芸術の向上に寄与します。
●家庭教育支援事業の推進及び放課後の遊びや生活の場の確保	保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対して、遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図ります。

2 社会教育施設の整備

生涯学習の活動拠点となっている施設・備品の老朽化等により、管理運営に課題が生じている現状を踏まえ、計画的な改修・修繕や有効活用を進めるとともに、社会教育施設の再編・整備について検討します。

【主な取組】

●社会教育施設の効率的な管理運営	様々な学習ニーズに対応する生涯学習拠点の管理運営を行います。
------------------	--------------------------------

3 伝統文化・文化財の保存

市民の文化財についての興味や関心を高めるとともに、本市外の人々の関与も考慮しつつ、伝統文化や文化財の保存などに関わる団体を支援していきます。

今後も、文化財の保存・管理を適切に行い、地域の宝である文化財を次世代に継承していきます。

【主な取組】

●文化財や伝統文化・芸能の保存・継承	江田島市文化協会・江田島伝統芸能保存会の活動を支援します。
●歴史講座や関係企画展等の開催	古文書解読研修会の開催などにより、市民の文化財に対する関心を高め、保護・保存の意識啓発を行います。
●歴史・郷土施設の活性化	ものづくり教室・企画展などの充実や所蔵資料の整理等を行い、活性化を図ります。

スポーツの推進

＜施策の目標（目指す姿）＞

誰もが、興味や体力等に応じて、スポーツ・レクリエーションに親しんでいます

1 スポーツ・レクリエーションの普及・推進

各種スポーツ大会において、スポーツ推進委員や運動普及推進員などと連携し、体力づくりや健康づくりの普及・推進を図ります。

統合型地域スポーツクラブについては、市民ニーズに対応した運営を行うために、事務局体制の強化や指導者のスキルアップ、運営プログラムの充実などを図っていくとともに、市体育協会、スポーツ少年団など地域団体と連携し充実に努めます。

【主な取組】

●地域スポーツの推進	気軽にスポーツを楽しめるよう、スポーツに関する意識啓発や、取り組むきっかけづくり、目的に応じたスポーツの普及推進を図ります。
●ジュニアスポーツの推進	市スポーツ少年団を支援し、ジュニアスポーツの推進に努めます。
●競技スポーツの推進	市体育協会を支援し、競技スポーツの推進に努めます。
●マラソン大会などのスポーツイベントの開催	日本陸上競技連盟公認種目に位置づけた大会を開催し、競技力の向上に寄与するとともに、併せて特産品まつりを開催し、都市住民との交流を通じた地域の活性化を図ります。

2 社会体育施設の整備

スポーツ活動の場となっている施設・備品の老朽化等により、管理運営に課題が生じている現状を踏まえ、計画的な改修・修繕や有効活用を進めるとともに、スポーツ・レクリエーション施設などの再編・整備について検討します。

【主な取組】

●スポーツ施設の効率的な管理運営	スポーツ施設や備品の計画的な改修・修繕を進め、利用促進を図ります。
------------------	-----------------------------------

里海教育

＜施策の目標（目指す姿）＞

自然に親しみ、知的好奇心や探究心が育まれ、生命を尊び、自然を大切にし、郷土を愛する豊かな心が育っています。

1 「里海」を教育資源とした特色ある教育の推進

大柿自然環境体験学習交流館（さとうみ科学館）において、「里海」を教育資源とした本市ならではの「特色ある教育」を推進し、学校教育・社会教育の両面から、幅広い年齢層を対象とした自主的・継続的な理科教育・環境教育の充実に努めます。自然体験活動や調査・研究活動（科学研究）などを通じて、ふるさとの自然に対する知的好奇心や探究心、実感をともなった豊かな自然観を育成し、問題解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てます。また、生命を尊び、ふるさとの自然を大切に、郷土を愛する豊かな心を育む教育活動を推進します。

【主な取組】

●地域の自然資源の調査研究による自然資源の発見・継承	江田島市周辺の海産生物相や観察に適したフィールドの把握を行い、教育活動に活用します。
●「里海」を教育資源とした自然体験活動の充実	海辺の生き物を観察する自然観察会や研修会などを行います。
●幅広い年齢層を対象とした自然体験・科学体験の場や機会の提供	関係機関と連携したイベントを実施し、幅広いニーズへの対応を図ります。
●主体的・継続的な探究活動「課題発見・解決学習」の推進	学校における「科学研究」の取組を推進します。
●学校における自然体験活動の推進	小学5年生を対象とした江田島里海学習（マリン・アドベンチャー）などを実施します。
●学校と連携した理科教育の推進	小中学校の理科教育を推進し、教職員の指導力向上と児童生徒の学力向上を図ります。

2 「海を活用した知の拠点」としての施設整備と事業の充実

「海辺の自然について学ぶなら江田島市へ」という認知度を高め、人が集い、交流しながら学び、楽しむことができる「海を活用した知の拠点」としての施設整備と事業の充実に努めることで、利用者の利便性向上と幅広いニーズへの対応を図ります。

【主な取組】

●館リニューアル整備の検討	さとうみ科学館の今後の役割と、施設内容や整備の在り方について検討を行います。
●理科センター機能の充実	理科教育の支援及び自然体験学習拠点としての整備と事業の充実に努めます。
●自然史博物館機能の充実	地域の自然に関する調査研究と資料収集・教育普及を行う施設としての整備と事業の充実に努めます。
●「里海」をテーマとした観光・交流機能の充実	教育プログラムを観光資源とした観光・交流拠点としての整備と事業の充実に努めます。

令和3年度江田島市教育委員会 経営計画

I 使命

子どもたちが夢や目標を持って学び、育ち、市民一人ひとりが、生涯を通じて、学び、活動し、生きがいを感じ輝くことは、豊かな暮らしの基盤となる。

このため、学校教育では、児童生徒が生涯を生き抜く力、社会で活躍するために必要な資質・能力の育成を義務教育の使命とし、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育成し、その水準の向上に努める。

また、生涯学習では、公民館活動などの社会教育をはじめ、スポーツ振興における普及・啓発活動や、文化・芸術・スポーツにおける学習機会の確保と社会教育施設の整備・充実に努める。

さらに、里海教育では、自然体験活動や探究活動など、自然に親しみ、自然に学ぶ場や機会の整備・充実に努める。

これらの理念を合わせることで、相乗効果を生み、「人が育ち、輝くまち」を目指す。

II めざす姿

【児童生徒像】

○生涯を生き抜く力である「知（確かな学力）」「徳（豊かな心）」「体（健やかな体）」がバランスよく育成されるとともに、それらを活用する力や社会性が育成されている。また、生命を尊び、自然を大切にし、郷土を愛する豊かな心が育成されている。

【学校像】

○組織的な学校体制のもとで、教職員を育成し、学校・家庭・地域の連携により、信頼される安全・安心な学校づくりを目指している。

【市民像】

○文化・芸術・スポーツ等の生涯学習活動において、市民一人ひとりが、生きがいを感じ、生き生きと暮らしている。

III 現状分析

【学校教育】

○教職員の懲戒処分については、令和2年度も発生していない。

（平成30年度及び令和元年度も発生していない。）

○令和2年度江田島市小中学校学力調査の平均正答率については、小学校国語は全学年で全国平均正答率を下回ったが、算数は3学年が上回った。中学校は国語、数学とも、全学年（1・2学年）で全国平均正答率を下回った。

○生徒指導上の諸問題において、令和2年度不登校児童生徒の割合は、小学校0.69%（5人）、中学校3.33%（13人）である。

（令和元年度不登校児童生徒の割合 小学校0.83%（6人）、中学校1.81%（7人））

○令和元年度体力・運動能力調査の全国平均以上の種目数の割合は、61.8%である。

【生涯学習】

○令和2年度の生涯学習講演会、人権学習講演会、市美術展の来場者について「とても満足した」の割合は、48%であった。（来場者アンケート）※実施事業は市美術展のみ

○スポーツセンターの令和2年度利用者数は21,990人、総合運動公園の利用者数は、10,632人である。

○図書館の令和2年度年間貸出数は75,792冊、来館者数は30,300人である。

（大柿図書室は令和2年度～4年度中休館のため含まない。）

【里海教育】

○さとうみ科学館の令和2年度来館者数は、2,109人である。

（館外事業・入館事業を含む総利用者数は、2,491人である。）

IV 目標及び取組

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
学校教育	信頼される学校づくりを推進する。	教職員による不祥事を0（ゼロ）にする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 服務研修の充実に向けて、各校が実施した服務研修の好事例を活用し、市主催研修において指導助言を行う。 ○ 5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒、保護者、教職員に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを毎学期実施する。 ○ 学校における「働き方改革」及び開かれた学校づくりの推進（HPの充実等）に向けて、主催研修等において指導助言を行う。
	児童生徒の学力の向上を図る。	習得した知識・技能を活用する力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びの視点に基づいた授業改善が組織的に推進されるよう、「『学びの変革』推進協議会」を活用し、指導助言を行う。 ○ 江田島市小中学校学力調査を活用し、改善計画に基づいた学力向上に係る取組が各校で組織的に行われるよう、教務主任研修等において指導助言を行う。 ○ 学校訪問や教科部会において学力向上に係る取組状況を把握し、実態に応じた指導助言を行う。
	児童生徒の豊かな心を育成する。	不登校児童生徒への取組を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不登校やいじめ防止につながるアンケートを実施し、教育相談体制が充実するよう指導助言を行う。 ○ 各校の不登校傾向の児童生徒の状況把握及び実態に応じた指導助言を行うとともに、不登校児童生徒の状況が改善するよう、再登校に向けた指導助言及びSSR等の環境整備を行う。 ○ 各校の道徳教育及び体験活動が充実するよう、「江田島市道徳教育推進協議会」を活用し、指導助言を行う。
	児童生徒の体力向上を図る。	運動習慣の確立に向けた取組を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育科授業において、体力向上に係る取組が充実するよう、主催研修及び「江田島市体力向上推進協議会」を活用し、指導助言を行う。 ○ 業間運動及び部活動等において、運動習慣の確立に向けた取組が充実するよう指導助言を行う。 ○ 児童生徒の食生活が充実するよう、学校・家庭・地域が一体となった食育推進に係る指導助言を行う。
生涯学習	魅力ある事業づくりを推進する。	実施事業に対する満足感の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民ニーズを捉え、様々な学びに対する関心を高める企画内容とする。 ○ 事前準備や運営に係る調整を徹底し、円滑な運営に努める。 ○ 学校や関係団体と連携を図ると共に、市広報やSNSだけでなく、他部署の広報媒体なども活用し、PRの強化を図る。
	健康づくり、体力づくりを推進する。	公共スポーツ施設の利用促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ推進委員や関係団体等と連携し、総合運動公園やスポーツセンターを活用した生涯スポーツ体験会を開催する。 ○ 体育協会、eスポーツクラブ、スポーツ少年団への加入・参加を推進する。 ○ HP・広報等を活用し、社会体育施設や活動をPRする。
	図書館の充実を図る。	図書館年間貸出冊数及び来館者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「スタンプラリー」「読書貯金通帳」の活用や、参加型講座、読み聞かせ等の実施により、自主的な読書活動を促す。 ○ 「子ども司書」養成講座を実施する。 ○ 窓口拡大サービスや、施設利用に関するチラシ等を関係施設へ配布・掲示するなど、PRの強化に努める。
里海教育	さとうみ科学館の認知度を高める。	さとうみ科学館の利用者の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土日開館（毎月1回）を試験的に実施する（実証実験）。 ○ 観察会・研修会や館内見学の実施方法を工夫することで、事業への参加や来館しやすい環境づくりを行う。 ○ 広報紙、SNS等の活用により、PR強化を図る。

令和3年度自己評価表

江田島市教育委員会

	中期経営目標	短期経営目標	評価項目	評価指標	実績値		目標値		評価 (自己評価の結果)	改善策
					令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和4年度		
学 校 教 育	信頼される学校づくりを推進する。	教職員による不祥事を0(ゼロ)にする。	<ul style="list-style-type: none"> 服務研修の充実に向けて、各校が実施した服務研修の好事例を活用し、市主催研修において指導助言を行う。 5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行う。 全児童生徒、保護者、教職員に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを毎学期実施する。 学校における「働き方改革」及び開かれた学校づくりの推進（HPの充実等）に向けて、主催研修等において指導助言を行う。 	懲戒処分件数 0件	0件	0件	0件			
	児童生徒の学力の向上を図る。	習得した知識・技能を活用する力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びの視点に基づいた授業改善が組織的に推進されるよう、「学びの宴革」推進協議会を活用し、指導助言を行う。 江田島市小中学校学力調査を活用し、改善計画に基づいた学力向上に係る取組が各校で組織的に行われるよう、教務主任研修等において指導助言を行う。 学校訪問や教科部会において学力向上に係る取組状況を把握し、各校の実態に応じた指導助言を行う。 	江田島市小中学校学力調査（標準学力調査）の平均正答率（全国値との比較） 平均正答率が全国平均値を上回った学年の数 小・国語(0) 小・算数(3) 中・国語(0) 中・数学(0)	平均正答率が全国平均値を上回った学年の数 小・国語(4) 小・算数(5) 中・国語(1) 中・数学(1)	平均正答率が全国平均値を上回った学年の数 小・国語(6) 小・算数(6) 中・国語(2) 中・数学(2)				
	児童生徒の豊かな心を育成する。	不登校児童生徒への取組を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> 不登校やいじめ防止につながるアンケートを実施し、教育相談体制が充実するよう指導助言を行う。 各校の不登校傾向の児童生徒の状況把握及び実態に応じた指導助言を行うとともに、不登校児童生徒の状況が改善するよう、再登校に向けた指導助言及びSSR等の環境整備を行う。 各校の道徳教育及び体験活動が充実するよう、「江田島市道徳教育推進協議会」を活用し、指導助言を行う。 	不登校児童生徒の割合 小：0.69% (5人) 中：3.33% (13人)	小：0.42% (3人) 中：1.28% (5人)	小：0.27% (2人) 中：1.03% (4人)				
	児童生徒の体力向上を図る。	運動習慣の確立に向けた取組を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> 体育科授業において、体力向上に係る取組が充実するよう、主催研修及び「江田島市体力向上推進協議会」を活用し、指導助言を行う。 業間運動及び部活動等において、運動習慣の確立に向けた取組が充実するよう指導助言を行う。 児童生徒の食生活が充実するよう、学校・家庭・地域が一体となった食育推進に係る指導助言を行う。 	「運動やスポーツが好き」に対して、肯定的に答える児童生徒の割合 小 90.3 中 5 女子 88.7 男子 90.1	「運動やスポーツが好き」に対して、肯定的に答える児童生徒の割合 小 88.7 中 2	—				
生 涯 学 習	魅力ある事業づくりを推進する。	実施事業に対する満足感の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズを捉え、様々な学びに対する関心を高める企画内容とする。 事前準備や運営に係る調整を徹底し、円滑な運営に努める。 学校や関係団体と連携を図ると共に、市広報やSNSだけでなく、他部署の広報媒体なども活用し、PRの強化を図る。 	48%	50%	55%				
	健康づくり、体力づくりを推進する。	公共スポーツ施設の利用促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ推進委員や関係団体等と連携し、総合運動公園やスポーツセンターを活用した生涯スポーツ体験会を開催する。 体育協会、eスポーツクラブ、スポーツ少年団への加入・参加を推進する。 HP・広報等を活用し、社会体育施設や活動をPRする。 	21,990人	24,000人	24,000人				
	図書館の充実に努める。	図書年間貸出冊数及び来館者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 「スタンプラリー」「読書貯金通帳」の活用や、参加型講座、読み聞かせ等の実施により、自主的な読書活動を促す。 「子ども同書」養成講座を実施する。 窓口拡大サービスや、施設利用に関するチラシ等を関係施設へ配布・掲示するなど、PRの強化に努める。 	75,792冊 30,300人	76,000冊 33,000人	77,000冊 34,000人				
里 海 教 育	さとうみ科学館の認知度を高める。	さとうみ科学館の利用者の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 土日開館（毎月1回）を試験的に実施する（実証実験）。 観察会・研修会や館内見学の実施方法を工夫することで、事業への参加や来館しやすい環境づくりを行う。 広報紙、SNS等の活用により、PR強化を図る。 	来館者数 2,109人	来館者数 3,000人	来館者数 3,300人				

6 主要教育行政施策の概要

第二次江田島市総合計画（H27～R6）

江田島市教育大綱（R2～R6）

人が育ち、輝くまち

学校教育の充実

1 学校教育の内容

- ・ふるさと実感事業（継続）地域の教育資源の活用や地域貢献等の体験活動の充実
- ・キャリア教育推進事業（継続）夢や希望、勤労観・職業観を育む教育の実施
- ・特別支援教育推進事業（継続）一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな教育を支援
- ・国際教育事業（継続）小中学校の英語（外国語）教育の充実、ALT（3名）の配置
- ・外国語指導事業（継続）実用英語技能検定の検定料の助成
- ・ICT教育事業（継続）ICT機器（タブレット端末）を用いた授業実践の研究
- ・ICT活用事業（継続）校務支援システムの導入による事務処理の効率化を図る

2 学校と地域・家庭との信頼関係

- ・学校経営支援事業（継続）地域や学校の特色を生かした個性的な教育活動の支援
- ・研究指定校事業（一部新規）県の研究指定校事業の実施
- ・教育研究グループ支援事業（継続）教育課題の実践的研究、教員リーダーの育成
- ・大柿高等学校サポート事業（継続）大柿高等学校魅力化コーディネーターの配置及び大柿高等学校の地域に根ざした教育活動及び中高連携の充実

3 学校施設の整備

- ・学校メール配信サービス運用事業（継続）緊急情報等のメール配信サービスの運用
- ・通学支援事業（継続）統合や自転車通学解消のための遠距離通学支援
- ・学校教育施設整備事業（一部新規）学校施設の計画的な整備

生涯学習の充実

1 生涯学習活動の支援

- ・生涯学習推進事業（継続）市民が生き生きと前向きな生活が送られるよう、講演会などを開催
- ・家庭教育推進事業（継続）家庭教育に係る学習機会の提供支援
- ・人権学習講演会開催事業（継続）市民一人一人が学び考える機会とし、人権感覚の高揚を図る
- ・人権に関する作品募集事業（継続）小中学生から人権をテーマとした絵画・作文を募集し、人権感覚を涵養
- ・文化・芸術鑑賞事業（継続）優秀な美術・演劇・音楽に接し、感性や教養を深める
- ・美術展開催事業（継続）市民の芸術・文化活動の活性化促進
- ・放課後児童健全育成事業（継続）放課後等に安全・安心な子どもの活動拠点を設け、児童の健全育成を図る

2 社会教育施設の整備

- ・公民館管理運営事業（継続）市民の自主学習活動を支援し、地域交流の拠点とする
- ・図書館管理運営事業（継続）市民の読書活動・コミュニティの場、情報発信の拠点

3 伝統文化・文化財の保存

- ・伝統文化継承事業（継続）郷土の伝統芸能や文化財の継承・市民へ文化意識の涵養
- ・ふるさと再発見事業（継続）歴史をキーワードにふるさとの素晴らしさを再発見してもらい機会を提供

スポーツの振興

1 スポーツ・レクリエーションの普及・振興

- ・市民スポーツ推進事業（継続）市民の体力・健康づくりの推進と市民交流の促進
- ・マラソン大会開催事業（継続）都市との交流や健康づくりを図るファミリーマラソン大会の実施

2 社会体育施設の整備

- ・市民プール開放事業（継続）市民の体力・健康づくり及び生涯スポーツの振興を図る

里海教育

1 「里海」を教育資源とした特色ある教育の推進

- ・里海学習推進事業（継続）「里海」を教育資源とした自然体験活動を通じて豊かな心の醸成を図る
- ・理科教育推進事業（継続）小中学校の理科教育を推進し、学力向上を図る

2 「海を活用した知の拠点」としての施設設備と事業の充実

- ・館リニューアル整備事業（継続）「海を活用した知の拠点」としての施設整備と事業の充実を図る

ふるさと実感事業

予算額 100万円
継続事業

事業の目的

ふるさとを愛する豊かな心を養うとともに、将来、地域の発展に貢献できる児童生徒を育成するための各学校における取組に対して補助金を交付し、児童生徒がふるさとを実感する教育活動の展開を支援する。

事業の内容

(1) 学校が行う地域貢献の支援「ぼくもわたしも江田島市民！」

- ・中学校区で小中学生がボランティア清掃を行う。
- ・地域の行事に積極的に参加する。

(2) 学校が行う地域学習の支援「江田島っていいな！」

- ・地域のことを学ぶため、学校から出て、地域で学ぶ。
- ・地域人材をゲストティーチャーとして招聘する。

(3) 講演会の開催「ようこそ先輩！」

- ・地元出身で活躍している先輩を招聘し、講演を聞く。
- ・地元出身で活躍している先輩による授業を行う。

キャリア教育推進事業

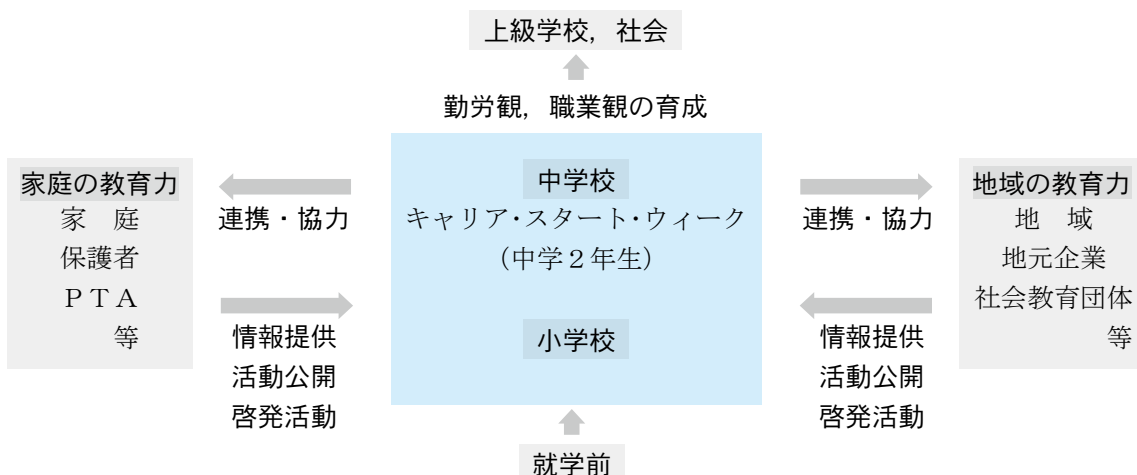
予算額 10万円
継続事業

事業の目的

児童生徒が社会人・職業人として自立していくために必要な意欲・態度や能力を育成するため、3日間の職場体験学習（キャリア・スタート・ウィーク）などの取り組み等を通して発達段階に応じたキャリア教育の推進を図る。

事業の内容

社会人・職業人として必要な資質・能力の育成



特別支援教育推進事業

予算額 90万円
継続事業

事業の目的

LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥・多動性障害）、高機能自閉症等（以下「LD等」）を含む障害のある幼児・児童・生徒に適切な指導や必要な支援を行うとともに、一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな教育を実施する。

事業の内容

一貫した支援体制の整備

- 関係機関、専門家等と連携した就学前の教育相談の充実
- 就学時検診の実施
- 教育支援委員会の開催
- 専門家による教育巡回相談の実施
- 県特別支援学校江能分級での教育相談の実施

校内支援体制の充実

- 市費講師、学生支援員の配置による支援体制の整備
- 校内委員会の設置・充実
- 教材、備品の充実
- 個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成
- 特別支援学校との連携の充実

教員の専門性の向上

特別支援教育の推進

～一人ひとりのニーズに応じた教育的支援～

特別支援教育に関する普及啓発

- 特別支援教育コーディネーター研修会などの実施
- 指導主事の派遣

- 専門家による講演会の実施
- 特別支援教育の理解における保護者との連携
- 特別支援教育に関する情報提供の充実

国際教育事業

予算額 1,343万円
継続事業

事業の目的

外国語指導助手（ALT）を3名派遣し、小学校及び中学校における英語教育の充実を図るとともに、ネイティブな発音にふれ、外国の文化や習慣と慣れ親しむことを目的に実施する。

事業の内容

英語教育の充実により児童生徒の国際感覚を養う

- 言語や文化に対する理解の深化
- 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成
- コミュニケーション能力（聞くこと・話すこと・読むこと・書くこと）の育成
- 国際感覚を養う

中学校における英語教育

小学校から中学校への
円滑なバトンタッチ

スタートカリキュラム

小学校における英語教育

- 発達段階に応じた授業
- 言語や文化に対する体験的な理解
- 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成
- コミュニケーション能力（聞くこと・話すこと・読むこと・書くこと）の基礎の育成

コミュニケーション能力の素地を養う

学校経営支援事業

予算額 120万円

継続事業

事業の目的

各学校の令和3年度学校経営計画における具体的な取組・方策に対する支援を行うために補助金を交付する。

事業の内容

学校評価の結果に応じて、学校を支援することにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図る。配分する額は申請内容に応じて決定する。
(対象校 10校)

江田島市小中学校の教育水準の向上

各学校における学校経営計画による具体的な取組・方策



教育研究グループ支援事業

予算額 3万円

継続事業

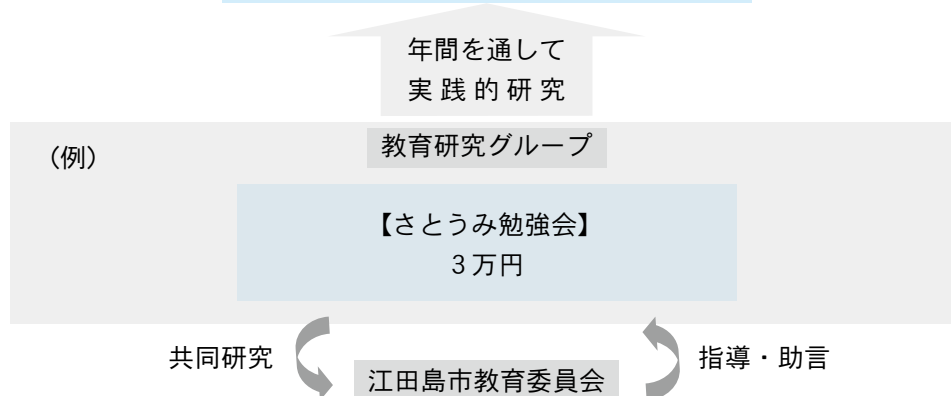
事業の目的

教職員として求められる専門的な研究推進に向け、教職員が自主的に構成する研究グループの活動を奨励・支援することにより、さらなる指導力の向上や教職員としての資質・能力のさらなる向上に資する。

事業の内容

複数校の教員で構成し、江田島市教育委員会の指導主事等の指導のもとに研究を進める。

江田島市の核となる教員リーダーの育成



外国語指導事業

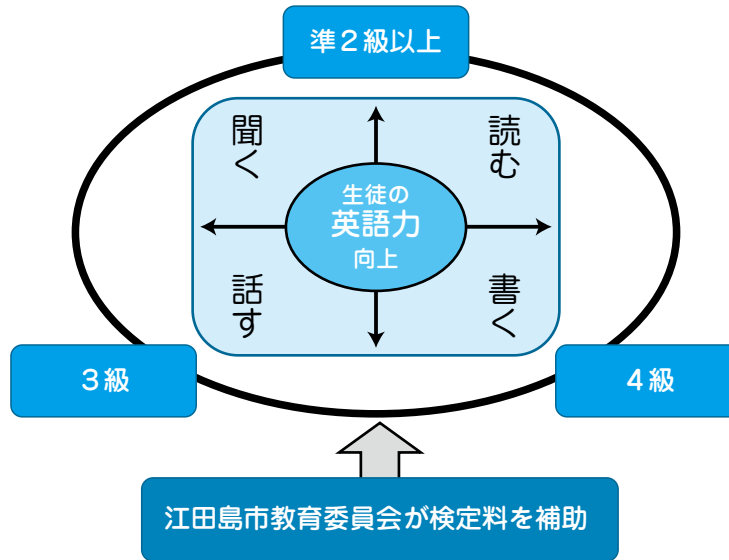
予算額 70万円
継続事業

事業の目的

江田島市立中学校在籍生徒に実用英語技能検定を積極的に受検させ、その検定料を補助することを通して、生徒の英語能力の向上を図る。

事業の内容

中学生の実用英語技能検定4級以上の受検にかかる検定料を助成する。



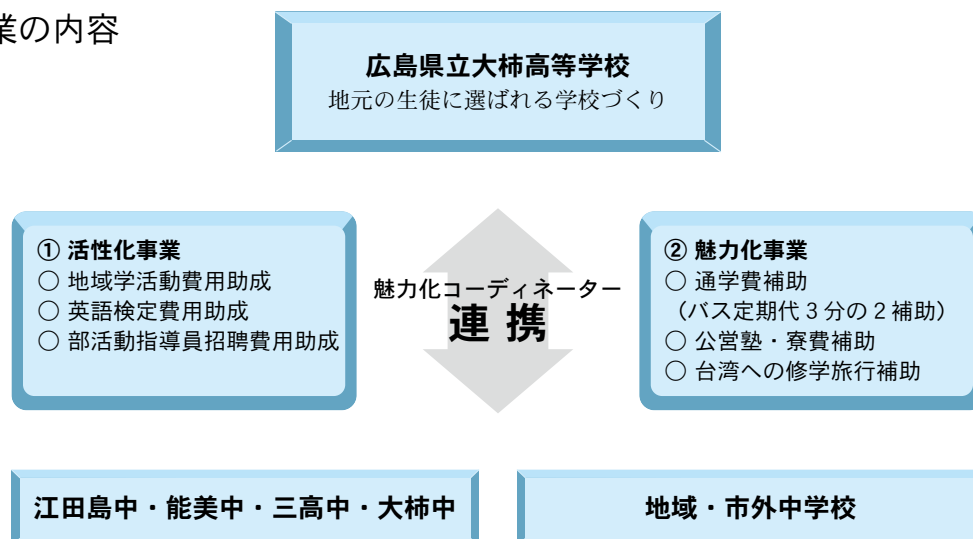
大柿高等学校サポート事業

予算額 2,051万円
継続事業

事業の目的

県立大柿高等学校の存続に向け引き続き支援を行い、大柿高等学校の生徒が充実した高校生活を送り、長期的には、地元の生徒が、自分の夢を叶えることができる高等学校としてあり続けられるよう取組を行う。

事業の内容



ICT教育事業

予算額 4077万円
拡充事業

事業の目的

ICTを基盤とした時代を生きる子どもたちの力を育むため、情報教育機器の整備、拡充を図り、教師のICT指導力の向上を図る。

事業の内容

指導者・学習者の両面から活用が可能な1人1台のタブレット端末やデジタル教科書を用いた授業実践の研究や遠隔学習を積極的に推進する。

- ・導入内容 令和2年度 1人1台のタブレット端末の導入
令和3年度 小・中学校デジタル教科書導入

ICT教育推進事業

ICT機器を活用した授業実践の研究を推進。
推進校：中町小学校

小中学校の教育研究会視聴覚部会において、ICT機器の活用の研究を実施。



ICT活用事業

予算額 674万円
継続事業

事業の目的

校務でICT機器を効果的に活用することにより、教員の事務負担を軽減し、子どもたちと向き合う時間を確保する。

事業の内容

校務支援システムの導入により、事務処理の平準化・効率化を図り、教職員が子どもたちと向き合える時間を確保する。

また、児童生徒情報の一元化により情報セキュリティリスクを低減させると同時に、多角的な情報活用を可能とし、教育の質の向上を図る。

データの活用

校務支援システム

指導の充実・教育の質の向上

子どもたちと向き合う時間を確保

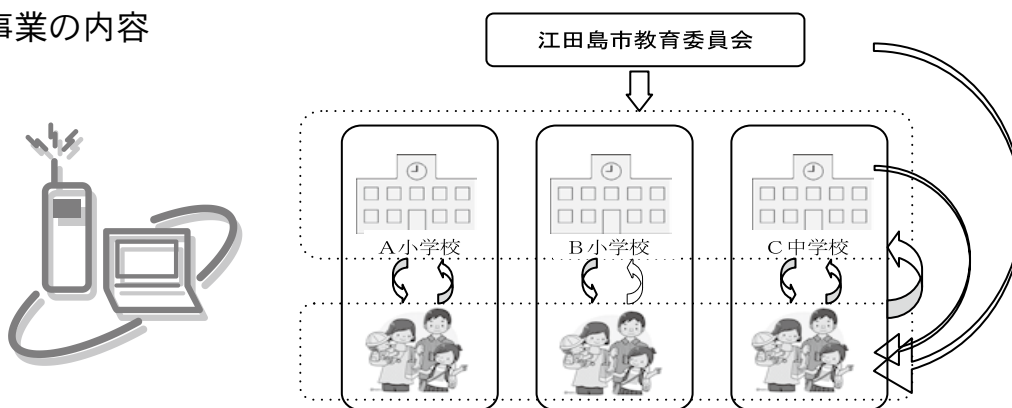
学校メール配信サービス運用事業

予算額 20万円
継続事業

事業の目的

小中学校からのお知らせや緊急・不審者情報等のメール配信を保護者等に
一斉に送信し、子どもたちの安全を守るとともに、学校の教育活動を積極的
に発信できる情報ツールとして活用し、開かれた学校づくりの充実を図る。

事業の内容



配信される内容例

- ・不審者情報 ・学校行事などの案内 ・臨時休校のお知らせ
- ・インフルエンザ情報 ・PTAからのお知らせ ・学校からの連絡
- ・クラブ活動からのお知らせ

通学支援事業

予算額 5,161万円
継続事業

事業の目的

統合後の通学支援：統合等により遠距離通学となった児童・生徒への通学
支援をする。

中学校生徒遠距離通学支援：遠距離自転車通学中学校生徒に対し通学時の
安全対策のため、路線バス定期の補助を行う。

事業の内容

統合後の通学支援

切串小学校（1区間）

差須浜・大須・幸ノ浦・エセギ・タカノス
(スクールバス)

江田島小学校（6区間）

飛渡瀬・江南(路線バス), 秋月(路線バス),
小用(路線バス)
津久茂(スクールバス), 大原官舎(スクール
バス), 石風呂・旧宮ノ原小(スクールバス)

中町小学校（1区間）

高田(スクールバス)

鹿川小学校（1区間）

是長・沖(路線バス・スクールバス)

三高小学校（1区間）

美能(路線バス)

大古小学校（2区間）

深江(路線バス), 大君・柿浦(路線バス)

中学校生徒遠距離通学支援

江田島中学校（4区間）

差須浜・大須・幸ノ浦・エセギ・タカノス
・切串(スクールバス)

飛渡瀬・江南・鷺部・中央(路線バス),
津久茂・宮ノ原(路線バス), 秋月(路線バス)
※自転車通学なし

能美中学校（3区間）

是長・沖の一部(路線バス・スクールバス)
鹿川の一部(路線バス), 高田の一部(路線
バス)

三高中学校（1区間）

美能(路線バス)

大柿中学校（3区間）

小古江の一部(路線バス), 深江の一部(路線
バス), 柿浦・大君の一部(路線バス)

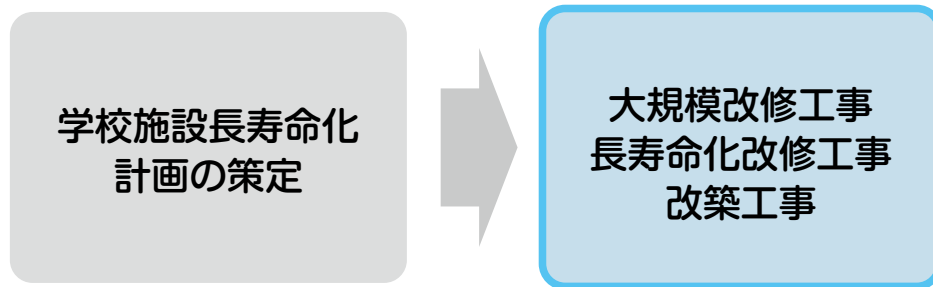
学校教育施設整備事業

予算額 1,500万円
継続事業

事業の目的 児童・生徒の安全の確保といきいき学び、活動できる学校づくりを進めていくため、学校施設長寿命化計画に基づき、学校施設の改修を計画的に進める。

事業の内容 ・江田島市立大柿中学校トイレ改修工事

予防保全型



里海学習推進事業

予算額 160万円
継続事業

事業の目的 「里海」を教育資源ととらえ、江田島市ならではの「特色ある教育」として実施する。自然に直接触れ、海辺の生物を観察する体験活動や調査・研究活動（科学研究）などを通じて、ふるさとの自然に対する知的好奇心や探究心を育み、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てる。

事業の内容

大柿自然環境体験学習交流館(さとうみ科学館)

〈学校教育事業〉

「理科センター」としての役割

- 江田島里海学習(マリン・アドベンチャー)の実施
- 授業支援(生活科・理科・総合)
- 科学フェア・イラストコンクールの実施
- 職場体験・修学旅行などの受入
- 教職員研修(理科部会など)
- 教材・教具の開発 など

地域の自然を教育に活かす

〈社会教育事業〉

「自然史博物館」としての役割

- 自然観察会・研修会の実施
- 関係機関との連携事業(出前水族館など)
- 生物・資料の展示普及
(ハンズ・オン展示など)
- 生物調査・海岸状況調査
- 標本・資料の収集・保管
- 学術発表・広報活動 など

理科教育推進事業

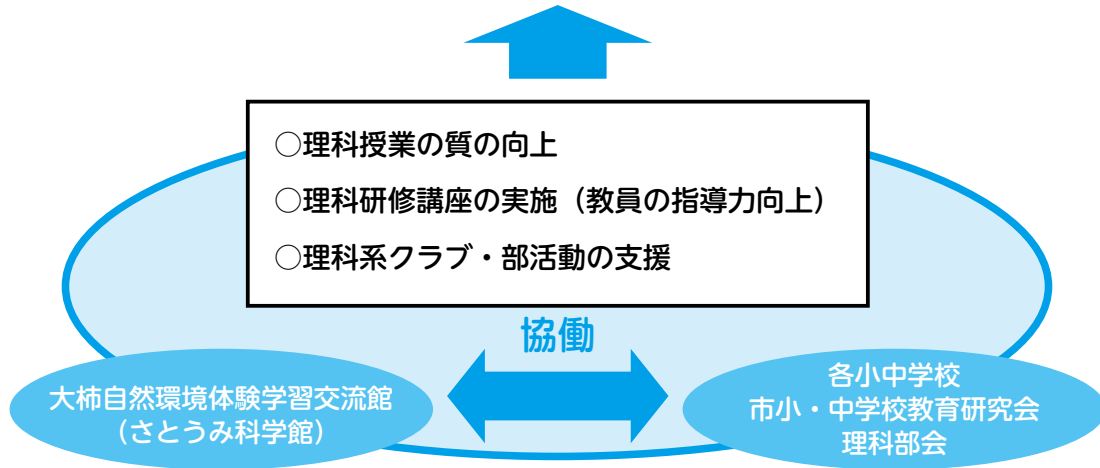
予算額 10万円
継続事業

事業の目的

小中学校の理科教育を総合的に推進するため、小中学校が、大柿自然環境体験学習交流館（さとうみ科学館）と協働することにより理科学習を実施することで、教員の指導力と理科授業の質の向上を図り、自然体験・科学体験の充実を通して、児童生徒の科学への興味・感心を高めるとともに、学力向上を図る。

事業の内容

科学的探究心の醸成や理科学習に対する意欲向上、児童生徒の学力向上



自然環境体験学習交流館リニューアル整備事業

予算額 6万円
継続事業

事業の目的

大柿自然環境体験学習交流館（さとうみ科学館）を中核施設とした「海と知のネットワーク」を構築しながら、「海辺の自然について学ぶなら江田島市へ」という認知度を高め、人が集い、交流しながら、学び、楽しむことができる「里海」を活用した知の拠点としての整備と事業の充実を図る。

事業の内容

●平成30年度よりスタートした整備事業●

<基本的な整備方針>

- ①「新築」によるリニューアル整備
- ② 体験学習の場として直接調査及び観察が可能な立地環境（海沿い）を重視すること
- ③ 利用者の便性向上と幅広いニーズへ対応が図れること

<令和3年度事業内容>

令和元年度に策定した「第2次基本計画」を基に、施設整備や財源確保といった事業手法の検討や、整備効果を高める運営手法など、具体的な事業化に向けた情報収集及び調査検討作業を行う。

- 先進地視察 等



生涯学習推進事業

予算額 105万円
継続事業

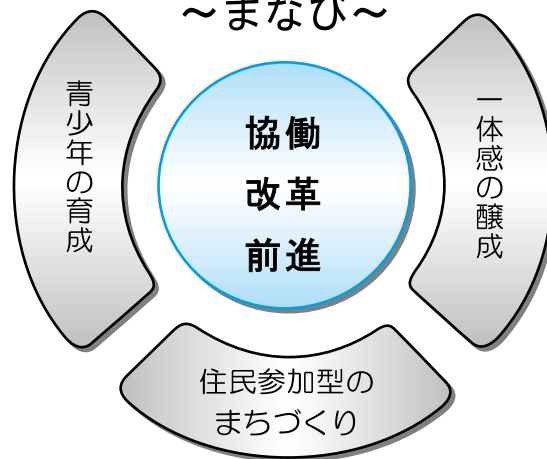
事業の目的

これからの生涯学習の推進と市民一人ひとりが生き生きと前向きな生活が送られるよう、講演会などを開催する。

事業の内容

生涯学習講演会

～まなび～



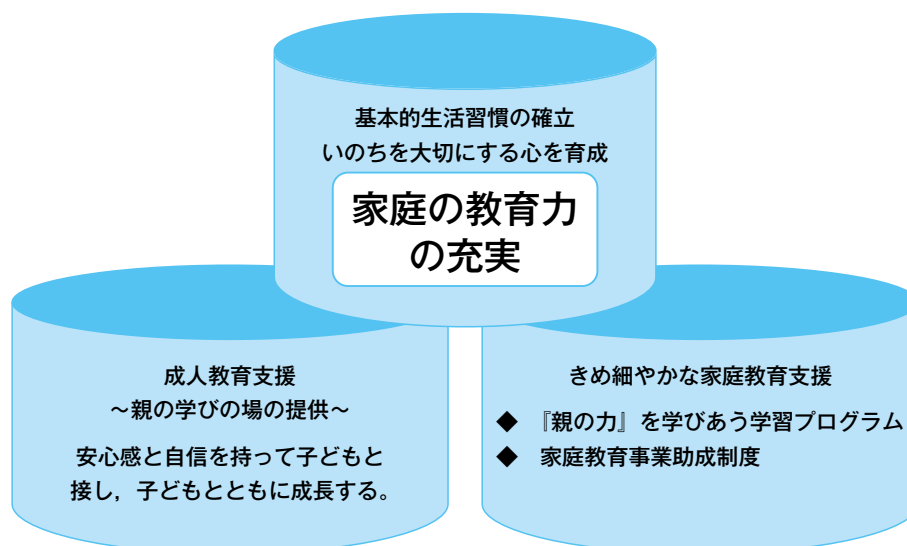
家庭教育推進事業

予算額 38万円
継続事業

事業の目的

人がこの世に生まれて最初に受ける教育であり、すべての教育の出発点である家庭教育を推進するため、地域社会や学校、行政、企業などが、それぞれの立場で子育て、人育てにアプローチし、相互に協力し合いながら支援していく。

事業の内容



人権学習講演会開催事業

予算額 116万円
継続事業

事業の目的

一人ひとりが、互いに認め合い尊重できる「人権感覚豊かな」人間性を育むことにより、誰もが住んでよかったと思うまちづくりを目指すことを目的に、講演会を開催する。

事業の内容

多様な人権課題

女性 子ども 高齢者 障害者 同和問題
アイヌの人々 外国人
HIV感染者・ハンセン病患者、元患者
刑を終えて出所した人 その他

人権学習講演会

人権感覚に溢れた社会実現

「学び」・「考え」一人ひとりが自らの
生き方を見つめ直し、人権意識の
醸成を図る

人権に関する作品募集事業

予算額 98万円
継続事業

事業の目的

市内で在学の小・中学生から、人権をテーマとした作品を募集し、児童・生徒の人権感覚を育むとともに、応募作品を基に人権啓発冊子を作成し、人権教育及び啓発資料として広く活用する。

事業の内容

応募資格 一江田島市内で在学の小・中学生

作文の部

- 日常生活での人権問題に視点をあてた作品
- 400字詰め原稿用紙5枚以内

選考・表彰

人権擁護委員等からなる選考委員会組織による選考と表彰

ポスターの部

- 日常生活での人権問題に視点をあてた作品
- 四つ切か八つ切画用紙
- 作品中に標語挿入

人権啓発冊子の作成

作品・ポスター各部の優秀・入選作品

児童・生徒に対して、身近な人権課題の再認識を促す。

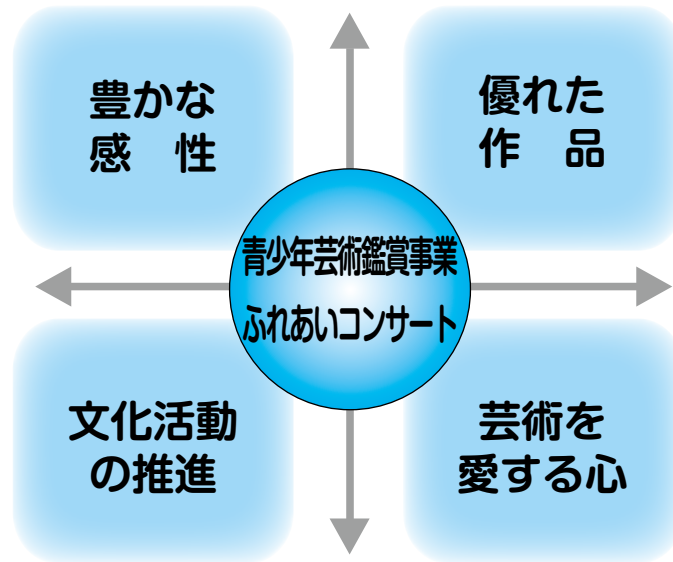
児童・生徒の人権感覚・視点を基とした啓発資料の活用は、大人たちへの強いメッセージと成り得る。

文化・芸術鑑賞事業

予算額 246万円
継続事業

事業の目的 市民が本物の舞台芸術や伝統文化に触れる機会を設け、豊かな感性や想像力などを養う。

事業の内容

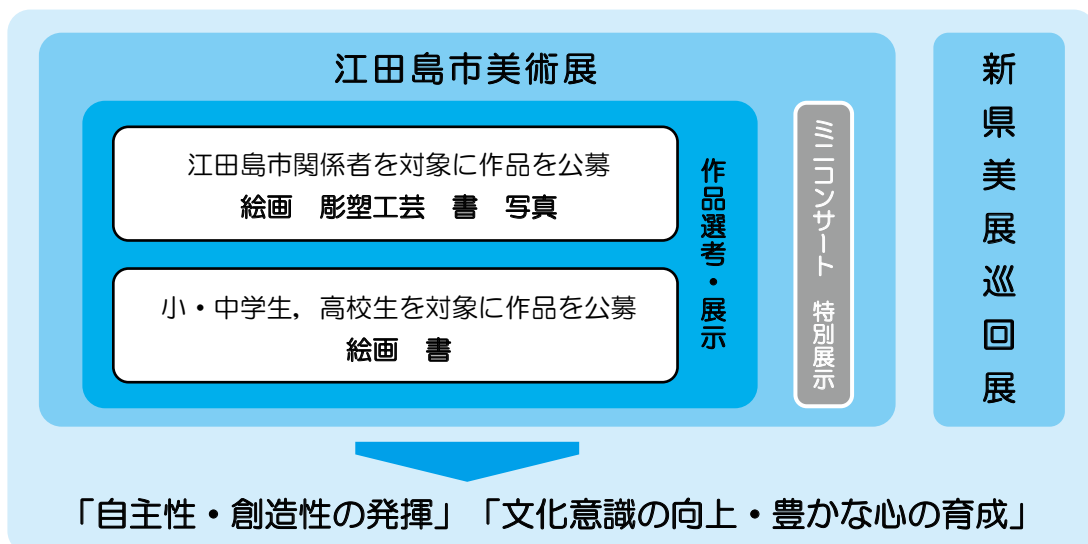


美術展開催事業

予算額 328万円
継続事業

事業の目的 市民の文化芸術に関する意欲的な創作発表を奨励し、自主性と創造性を発揮する場を提供する。
また、文化芸術活動・文化財等を鑑賞し親しむ機会を積極的に提供することで、市民の文化芸術意識の高揚を図る。

事業の内容



放課後児童健全育成事業

予算額 5,006万円
継続事業

事業の目的 保護者が就労などにより、昼間家庭にいない児童に対して、放課後や夏休みなどの長期休業中に、適切な遊びや生活指導を行い健全な育成を図る。

事業の内容

放 課 後 児 童 ク ラ ブ

◆対象児童

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生

◆実施場所

江田島第1児童クラブ	江田島小学校内
江田島第2児童クラブ	江田島小学校内
切串児童クラブ	切串小学校内
中町児童クラブ	中町児童館内
高田児童クラブ	高田交流プラザ内
鹿川児童クラブ	鹿川小学校内
三高児童クラブ	三高小学校内
大古児童クラブ	大古小学校内
柿浦児童クラブ	柿浦児童館内

開所日・時間

- 年間250日程度
- 保護者ニーズに応えるため
毎月1回程度土曜日に開所
(授業日) 放課後～午後6時
(休業日) 午前8時～午後6時

保護者負担金

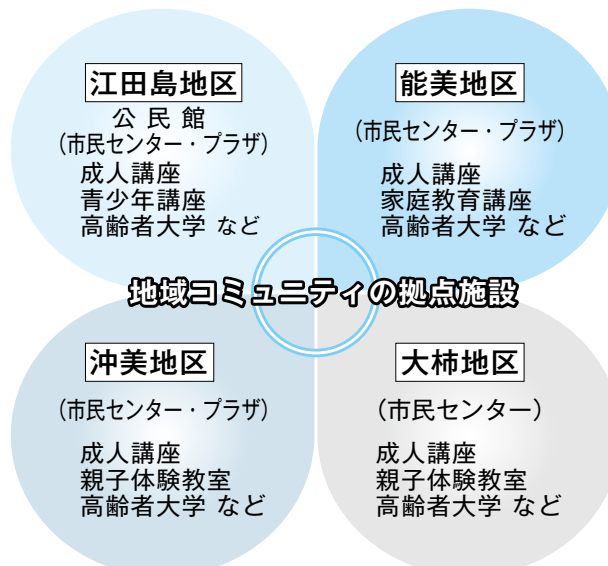
月額 3,000円 (8月は5,000円)

公民館管理運営事業

予算額 4,393万円
継続事業

事業の目的 住民に身近な生涯学習施設として、住民のニーズを的確に把握し、地域の課題解決に向けた取り組みを行うとともに、地域文化の継承や更なる発展を目的に文化・芸能活動を行う団体を支援する。また、各公民館で高齢者大学を開設し、生涯を通して元気で豊かな生活が送れるよう学習の支援や交流の場を提供する。

事業の内容



図書館管理運営事業

予算額 3,751万円
継続事業

事業の目的 利用者が安心して施設・設備を利用するための維持保全を行うとともに、地域における読書活動の中核的役割を担い、かつ定期的に住民が集える地域コミュニティの場としての役割を果たすための様々な方策を実施する。

事業の内容

地域コミュニティ

資料の充実

- 様々なニーズへの対応
- 児童図書の充実
- 郷土資料の収集
- 視聴覚資料の充実

システムの充実

- 図書館管理システムの利用による窓口業務の効率化
- 広島県立図書館との連携

読書活動の推進

企画・サービスの充実

- 青少年層の利用促進（スタンプラリー・子ども司書養成等）
- 定期的に住民が集う場（ふれあい広場・図書館フェスタ等）
- 強調月間等を通じた啓発
- 児童文学雑誌『小鳥』発行
- 関係サークルの育成
- 広域利用サービス（広島広域都市圏）

資料の充実

- 施設の維持保全と安全確保
- 郷土資料室の有効活用

特別事業：江田島図書館開館30周年記念事業

伝統文化継承事業

予算額 1,475万円
継続事業

事業の目的 伝統芸能や文化財など郷土の貴重な財産を保存し、次の世代へ継承する責務を果たすとともに、これらを広く市民へ紹介していくことで、郷土の歴史や伝統文化への関心と理解を深めていく。

事業の内容

伝統芸能の保存・継承

文化財の保護・活用

「学びの館」「大柿地区歴史資料館・灘尾記念文庫」の充実と活性化
伝統芸能保存団体への助成

次世代への継承

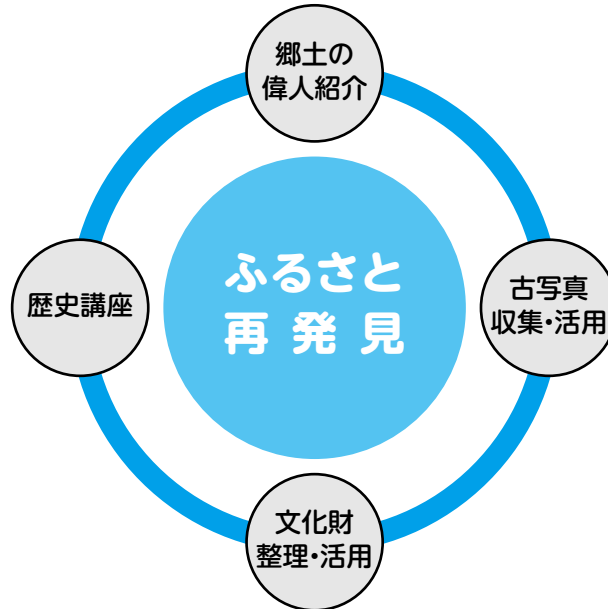
「文化財産への関心」と「豊かな人間性」

ふるさと再発見事業

予算額 125万円
継続事業

事業の目的 ふるさとの歴史を題材とした講座の開催や、歴史の記憶である古写真の収集・活用など、‘歴史’をキーワードとした事業を展開し、ふるさとに再度目を向けてもらうことで、その素晴らしさを再発見してもらう機会とする。

事業の内容

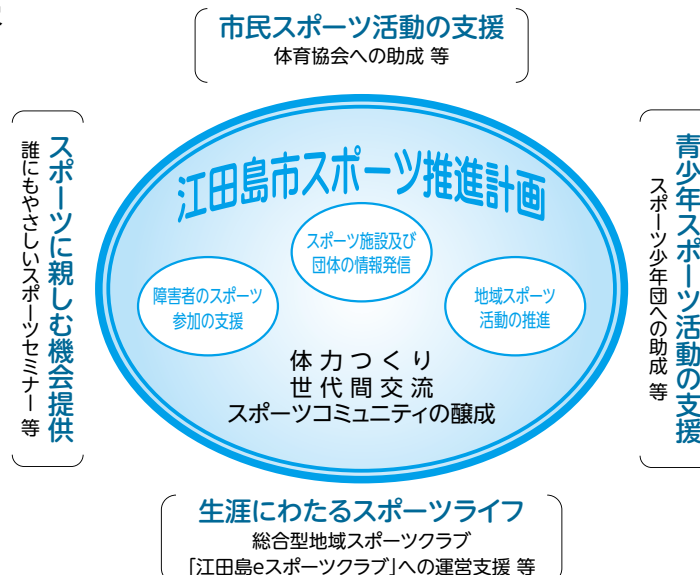


市民スポーツ推進事業

予算額 748万円
継続事業

事業の目的 江田島市スポーツ推進計画に基づき、市民のスポーツ活動を支援し、誰もが気軽にスポーツを楽しむ場を提供することにより、体力・健康づくりはもちろんのこと、世代間の交流促進や青少年健全育成、社会基盤としてのスポーツコミュニティの醸成を図る。

事業の内容



マラソン大会開催事業

予算額 230万円
継続事業

事業の目的

「潮風とともに走るふれあいマラソン」をテーマに、子どもから高齢者を対象に開催する。参加者に走る楽しさを感じてもらい、健康づくりへのきっかけを提供するとともに、一方で日本陸連公認のハーフマラソン種目を設けるなど競技力の向上にも資する。また、地元ボランティアによる協力と、市外に対して特産品のPRを行うことで、地元住民と都市との交流したまちおこしイベントとして、江田島市の魅力を発信する機会とする。

事業の内容



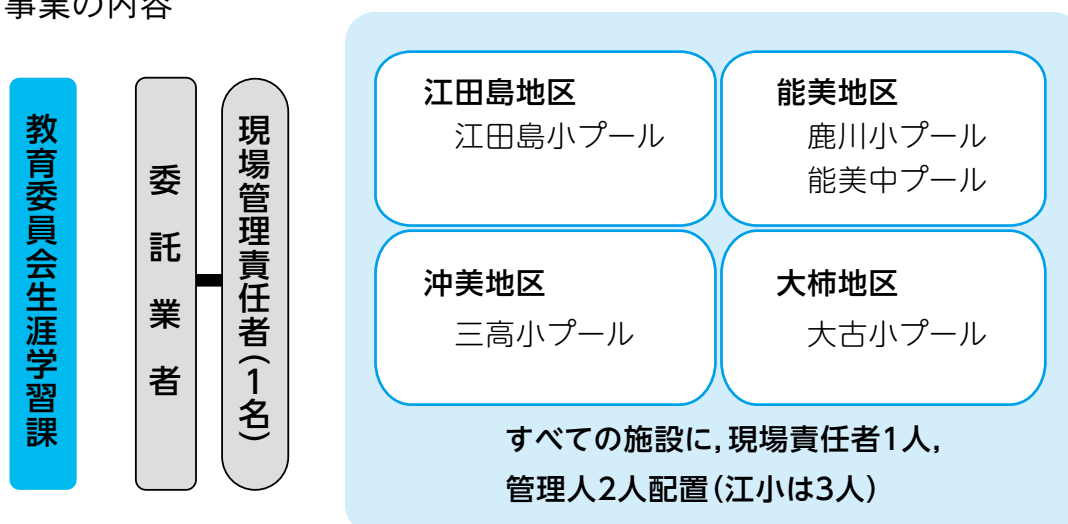
市民プール開放事業

予算額 1,513万円
継続事業

事業の目的

市内にある5プール（学校プールを含む）を夏休み期間中に開放し、市民の健康づくり、体力づくり、生涯スポーツの振興を図る。

事業の内容



ホストタウン交流事業

予算額 900万円
新規事業

事業の目的

東京オリンピック・パラリンピックにおけるホストタウンとして、来日する選手等と‘オリーブ’を核とした交流事業を展開して信頼関係を深めることで、今後の継続的な交流へと繋げる。

また、大会を通じて世界平和の大切さを理解するとともに、スポーツの推進につなげる。

事業の内容

【大会参加国関係者交流事業】

●相手国を知る・PR

- ・駐日大使館関係者と協力し、イベントの実施
- ・オリーブオイル講座の実施
- ・学校給食で相手国の料理を紹介
- ・相手国の料理教室を開催
- ・レストランにて、オリーブオイルを使用した料理を提供
- ・PRブース設置(パネル展)

【日本人オリンピック・パラリンピアン交流事業】

●オリンピック・パラリンピックの機運醸成

- ・オリンピック等による講演や体験型イベントの実施
- ・障がい者スポーツの体験会の実施

【選手等交流事業】

●選手等と市民の交流

- ・日本の文化体験(民俗芸能等)
- ・スポーツの交流(カヌー等)

●オリーブを通じた交流

- ・市民とオリーブの植樹
- ・交流のシンボルとなる樹の植樹
- ・オリーブ冠作り

【選手応援事業等】

●選手の応援

- ・パブリックビューイングによる応援

- 関係課
生涯学習課(スポーツ・文化)
農林水産課(オリーブ), 交流観光課(交流)

